

	<b>所 属</b>	現代社会学部 現代社会学科
	<b>専 攻</b>	現代ビジネス専攻
	<b>主な担当科目</b>	公共政策 I・II ミクロ経済学 マクロ経済学
	<b>氏 名</b>	山口 顕秀
	<b>フリガナ</b>	ヤマグチ ケンシュウ
	<b>職 位</b>	講師
	<b>学 位 等</b>	公共政策修士
<b>研究内容・社会業績等</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共政策(安全保障政策)</li> <li>・戦略的相互依存関係における意思決定</li> <li>・留学生政策</li> </ul>		
<b>論文・書籍・資格等</b>		
<p>軍縮の微分ゲームモデル単著2016年3月中央学院大学法学論叢(第29巻第2号)</p> <p>公共政策への経済的アプローチ単著2016年8月中央学院大学法学論叢(第30巻第1号)</p> <p>公共政策への政策評価からのアプローチに関する一試案単著2016年8月中央学院大学法学論叢(第30巻第1号)</p> <p>防衛投資最適成長のための資本蓄積と公共政策単著2017年8月中央学院大学法学論叢(第31巻第1号)</p> <p>防衛投資とリスク回避行動 単著2019年2月中央学院大学法学論叢(第32巻第2号)</p> <p>至誠館大学東京サテライト教室における留学生の実態調査報告共著2020年3月『至誠館大学研究紀要』第7巻</p> <p>戦争経済思想の可能性ー生産の奇跡を巡ってー共著2021年3月『至誠館大学研究紀要』第8巻</p> <p>パンデミック下での遠隔授業の導入ー至誠館大学東京キャンパスでの事例ー共著2021年3月『至誠館大学研究紀要』第8巻</p> <p>東京キャンパスにおける遠隔授業実施後のアンケート調査結果について 共著2022年3月『至誠館大学研究紀要』第9巻</p> <p>在留資格の資格外活動(週28時間以内)に関する一考察ー1週につき28時間以内)の根拠についての仮説 単著2022年3月『至誠館大学研究紀要』第9巻</p> <p>学部留学生に向けたレディネス調査「基礎学力(数学、日本語)検査」のためのWebテスト開発 共著2023年3月『至誠館大学研究紀要』第10巻</p> <p>学部留学生を対象とした入学前事前学習プログラムの試み 共著 2023年3月 『至誠館大学研究紀要』第10巻</p> <p>在留資格「特定技能」の新設と労働市場へのインパクトーモデルによる考察ー 単著2023年3月『至誠館大学研究紀要』第10巻</p> <p>工学部入試「女子枠」の可能性と課題に関する一考察 共著2023年3月『至誠館大学研究紀要』第10巻</p> <p>国立大学で広がるネーミングライツ(命名権)に関する一考察 共著2023年3月『至誠館大学研究紀要』第10巻</p> <p>国立大学の「一法人複数大学制度」に関する一考察 共著2023年3月『至誠館大学研究紀要』第10巻</p> <p>Airpower概念の整理に関する一考察ーゲーム理論を利用した考察ー 単著2024年3月『至誠館大学研究紀要』第11巻</p> <p>学部留学生の在籍管理の徹底についての一考察 共著2024年3月『至誠館大学研究紀要』第11巻</p> <p>私費外国人留学生のアルバイト経験と就職状況に関する一考察 共著2024年3月『至誠館大学研究紀要』第11巻</p>		
<b>学生へのメッセージ</b>		
<p>大学の4年間は無為に過ごすには長すぎますが、有為に過ごすには短すぎます。何であれ、学生生活を有為に過ごせる、他人に自慢できるような「何か」を見つけて後で悔いが残らない様に全力で取り組んで下さい。おそらくそんな時間の使い方が出来るのも学生時代が最後です。科目はことなれど「豊かさとは何か」、「公共の福祉とは何か」を通奏低音に授業や演習を行います。人々の生き方と自由を増やすためにはどうしたらよいか一緒に考えていきましょう。</p>		